

◆ 平成 28 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：不老川流域川づくり市民の会

19A-25

代表者：代表 丸橋かほる

URL



新・不老川きらりボード



不老川お宝マップ

1. 活動が必要とされた状況

当会は平成9年の設立当初より、多自然川づくりへ人々の参加をうながす広報活動を重視してきました。しかし近年社会の変化や高齢化のために、イベントに参加する人は増えても、自ら積極的に活動の運営を担う人は少なくなりました。

当会が目指す自然環境が豊かな川を次世代に引きつぐためには、更に多くの人に呼びかけ、若い世代を活動に呼び込む必要があります。今までの広報活動を見直し、時代に則したものにしていきます。

2. 活動の内容

- ① 掲示板「不老川きらりボード」の再建 平成28年4月27日 川越市今福不老橋際
平成14年の設置から14年経ち、朽廃が目立ってきた掲示板を新しく作り直しました。
- ② 平成29年3月 冊子「不老川 お宝マップ」A4版 32ページ 1,000部発行
平成11年に作成した「不老川 川づくりまちづくり マップ」は作成から17年経過し、在庫が残り少なくなりました。また書かれている内容も、時間の経過で現状にそぐわなくなっています。この間に数十回と川歩きをして集めた不老川の情報をマップと合わせ、誰でも手に取って川歩きをしたくなるような不老川案内書として刊行しました。

3. 活動の成果

- ① きらりボードは双方向の地域交流ボードとして、設置時から使用を開始しました。
当会会報「川のささやき」やイベント案内、新河岸川流域新聞「里川」等を掲示して地域に情報を流しています。最近川越市福原での子どもの川あそびについて、問い合わせがありました。
- ② 成果は今後の配布によります。

4. 今後に残された課題

- ① 不老川の中流（狭山市）下流（川越市）と看板が設置されましたが、上流域の入間市はまだ看板がありません。普段は閉められている大森調節池なども、多自然調節池として、何とか流域市民に知らせて行く手立てを考えています。